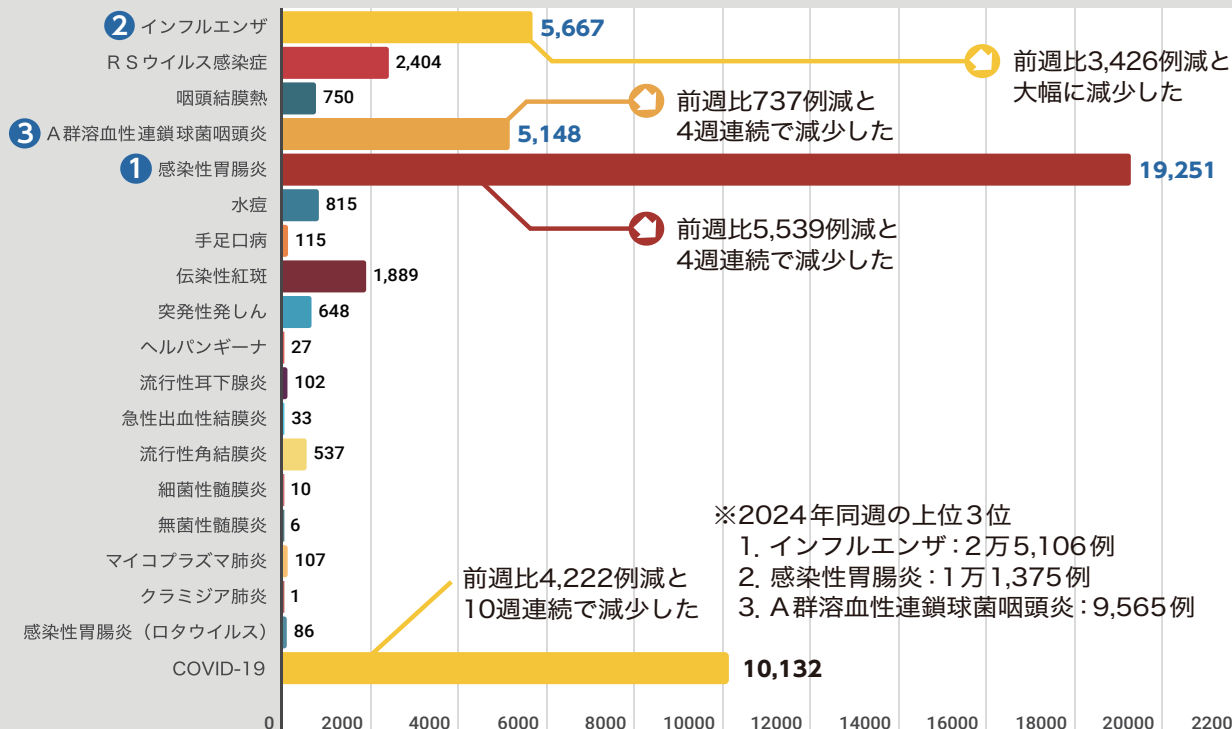




国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトが発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

# 感染性胃腸炎減少も、引き続き過去比で高水準

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



(国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトのデータを基に編集部作成)

## ①感染性胃腸炎

### 報告数

1. 東京都: 1,659例
2. 大阪府: 1,327例
3. 福岡県: 1,005例

### 定点当たりの報告数(6.41)

- |               |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 1. 大分県: 13.53 | 4. 愛媛県: 12.54 | 7. 鹿児島県: 9.34 | 10. 福岡県: 8.45 |
| 2. 宮崎県: 13.19 | 5. 富山県: 11.00 | 8. 福井県: 9.16  | 11. 山口県: 7.63 |
| 3. 香川県: 12.82 | 6. 石川県: 9.45  | 9. 広島県: 9.07  | 12. 群馬県: 7.58 |

## ②インフルエンザ

### 報告数

1. 東京都: 495例
2. 大阪府: 322例
3. 北海道: 308例

### 定点当たりの報告数(1.20)

- |              |              |              |               |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 秋田県: 3.79 | 4. 長野県: 2.65 | 7. 富山県: 1.93 | 10. 福島県: 1.56 |
| 2. 岩手県: 2.87 | 5. 宮崎県: 2.19 | 8. 新潟県: 1.81 | 11. 石川県: 1.54 |
| 3. 沖縄県: 2.70 | 6. 青森県: 1.95 | 9. 山形県: 1.65 | 12. 群馬県: 1.51 |

## ③A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

### 報告数

1. 東京都: 640例
2. 北海道: 363例
3. 千葉県: 314例

### 定点当たりの報告数(1.71)

- |              |              |              |               |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 富山県: 3.97 | 4. 新潟県: 2.96 | 7. 愛媛県: 2.63 | 10. 福岡県: 2.35 |
| 2. 茨城県: 3.52 | 5. 北海道: 2.75 | 8. 千葉県: 2.53 | 11. 栃木県: 2.27 |
| 3. 大分県: 3.22 | 6. 宮城県: 2.73 | 9. 東京都: 2.42 | 12. 埼玉県: 2.23 |

## 今週の感染症動向

感染性胃腸炎は5,000例以上の大幅減少で、2万例を割り込んだ。4週連続の減少となったが、定点当たり報告数は過去5年の同時期と比べてかなり多い状況が続いている。インフルエンザは3,426例減と3週連続で減少し、5,000例台だった。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は4週連続で減少した。COVID-19は10週連続で減少。5類感染症として定点観測が始まった2023年以降、この時期の定点当たり報告数としては最小値を記録している。急性出血性結膜炎は2週連続で減少したものの、定点当たり報告数は過去10年と比べ突出して多い状況が続いている。伝染性紅斑は前週から676例減少し、警報レベル(2.00)を超える地域は福島県(2.17)のみだった。全体的に減少傾向が続いていたものの、例年に比べて高水準の感染症も複数ある。引き続き注視が必要だ。